

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

##### 1. <茨城県 酒>

商品の値上げを検討したいが、消費者に景気回復の実感がないことが国内需要の伸びに繋がっていないこともあり、需要動向を見極めた対応が必要となっている。

##### 2. <神奈川県 干物>

人件費(最低賃金)の上昇や原料魚の不漁・高値等、マイナス要素ばかりの一年だった。この流れは来年も続きそうで、厳しい状況は変わらないと思われる。

##### 3. <長野県 漬物>

10月の台風・長雨による野菜の作付減、作柄悪化により極度に原料が不足。特に野沢菜が少なく、収益も悪化。12月は運賃の大幅値上げがあったが、価格には転嫁できていない。

##### 4. <和歌山県 パン・菓子>

12月は寒さが厳しく、クリスマスケーキ用の苺が不作。仕入値も高くなり、手配が困難化。

##### 5. <岡山県 味噌>

原料米の価格が高騰しており、安価米の数量確保が非常に困難。原材料の配送料も値上げ傾向にあるため、価格転嫁をせざるを得ない状況。

##### 6. <愛媛県 水産加工>

贈答品出荷が多く、作業も多忙だったが実績は前年比-5%。年末に時化が続き、原料魚が確保できず、年明け販売用の商品も品切れ状態となった。

##### 7. <高知県 食料品団地>

月後半に宅急便が全国的に急増したことから出荷品に遅れが発生。またクリスマス商戦から年末にかけても活発な取引となった。ただし、燃料の値上がりが急で収益に悪影響を与えた。

##### 8. <福岡県 その他の食料品>

業務用小麦粉価格の改定・値上げで駆け込み需要増。この影響で1月の販売量は減少見込み。

##### 9. <鹿児島県 蒲鉾>

例年、歳暮やお節用需要により、平月より2倍以上の売上があったが、不況のためか客単価・売上高も低迷し、全体で3%のダウン。また人手不足も続いており、待遇改善して募集をかけたも、希望人員の半数しか集まらない。

##### 10. <沖縄県 麺類>

年越しそば需要で最繁忙期となったが、人手不足等に伴い、発注を中断せざるを得ない事態も発生。売上高・収益状況は前年同月を上回ったが、業況は人手不足から不変。

#### 繊維・同製品製造業

##### 11. <秋田県 ニット>

例年より気温が低く、防寒衣料が好調で、在庫負担が軽減されている。ただし、生地等の原材料投入が遅れているため、各社とも生産ラインのやりくりに苦心している。

##### 12. <山形県 アパレル>

セール商品しか売れず、通常商品は低迷。ただし、セール品の動きも必ずしも良いとは言えない。業況が悪いのは例年通りだが、近年は洋装品工場の廃業も増加している。

13. <東京都 ニット製品>

防寒需要の高まりで冬物衣料品が動き、売上は順調に推移。引き続き、人材確保にも苦慮。

14. <福井県 織物>

中国の環境規制強化や人材不足に伴う人件費、資材、電気料金の上昇等が継続。高付加価値・高収益資材生産メーカーでも後継者不在により、廃業を検討している企業も出始めている。

15. <奈良県 靴下>

冬物の最盛期だが、原料高に加えて問屋筋からの加工賃切り下げ要求が強い。5足で千円の商品が多数出回っている市況は大変厳しい。

16. <大阪府 被服>

例年のない寒さで通常、防寒着は11月で生産終了だが、今年は未だに相当の引き合いがある。また北朝鮮に対する中国の制裁強化で縫製工が帰国させられており、内外ともに労働力不足となっていることから、品薄状態が継続している。

17. <香川県 手袋>

冬物も終盤に入り、クリアランスセールに突入しているが、記録的な寒波の影響から久しぶりに販売数も上昇。しかし、大きく売上が伸びたわけではない。

### 木材・木製品製造業

18. <秋田県 一般製材>

多忙でも製品価格は低迷し、原木も不足しているために生産量を上げられない。原木価格のみが高騰しているために収益は悪化。

19. <福島県 外材輸入>

現地の丸太不足で買付が思うように出来ず、材料不足からラインを止めざるを得ない工場もある。入荷量が不安定だ。

20. <群馬県 製材業、木製品>

荷動きは良好だったが、原木不足による価格高騰で収益が厳しい。

21. <兵庫県 木材・木製品>

1年を通じて、右肩下がりと感じた。直近でも仕入値や運賃がアップしているが、売値にはそのまま反映できない状態である。

22. <徳島県 木材>

収益状況が悪化。全国的に人口が集中している大都市は建材メーカー販売が増加しており、木材が足りない状態だが、地方は従来と変わらず販売量は例年通りか、それ以下である。

23. <福岡県 木材・木製品>

ガソリン・軽油価格や運賃値上げ等から、厳しい資金繰りが継続している。

24. <熊本県 一般製材>

丸太・製品ともに動きも値段も変わらないが、原木の不足感が高まっており、降雪など天候次第では今後の出材も心配される。

### 紙・紙加工品製造業

25. <三重県 紙器段ボール>

11月から寒い日が続く、冬物商品や食品向けの段ボールケースが昨年を大きく上回る出荷数となった。一部、段ボールシートの値上げを承諾せざるを得ない状況ともなっている。

26. <京都府 紙製容器>

精密機器、半導体関連は好調だが、お歳暮のギフト関連は年々少なくなり、一般商品や食品等も低調化。また原材料が15%以上もアップしているため、取引先に価格転嫁を依頼しても対応が鈍いので今後が心配だ。

## 27. <島根県 紙製容器>

段ボール原紙がシングル・ダブルともに価格上昇。製品価格は1月分より10%前後の値上げを予定しているため、ユーザーとの価格交渉が難航している。

## 28. <愛媛県 機械すき和紙>

原料（古紙・パルプ）や燃料、運賃の値上げによるコストアップが収益を悪化させている。

## 29. <高知県 機械すき和紙>

荷動きは活発だが、急激に値上げされた原材料を使用せねばならず、価格転嫁が急がれる。

## 印刷

### 30. <富山県 印刷>

売上高の増加傾向があるも、パッケージ印刷（特に医薬品関連の印刷物）は県外業者の安値攻勢が著しく、価格競争から収益低下。今後も競争激化が予想され、受注は増えても利益がない状況が続くそう。

### 31. <滋賀県 印刷>

年末ということで納期に追われたが、忙しくても売上の上昇に結びつくものではなかった。

### 32. <山口県 印刷>

チラシの需要期を迎えて受注量は増えたが、前年同月比では減少しており、確実にチラシは減少傾向にある。

### 33. <鹿児島県 印刷>

かつては年賀状印刷も大事な商機だったが、一般家庭に印刷複合機が普及して減少基調だ。

## 化学ゴム

### 34. <富山県 医薬品>

動物生薬原料の価格高騰が続き、製品への価格転嫁を実施せざるを得ない。

### 35. <奈良県 プラスチック>

相変わらずの雇用難が続く。引き合いが活発でも受注に沿った生産が出来ないケースが増加。

### 36. <和歌山県 化学工業>

為替が112～113円台で推移し、半導体向け等の輸出が好調でフル操業の組合員も見受けられる。平均稼働率も年度来最高だが、組合員格差も顕著に。収益は原材料費や原油が高騰しており、改善されているわけではない。

### 37. <広島県 プラスチック製品>

売上、設備操業度は全体的に横ばいで推移。自動車関連も先月に引き続き、設備操業度は横ばい傾向にある。

## 窯業・土石製品製造業

### 38. <秋田県 生コンクリート>

出荷量は天候不順も重なり、前年を大幅に下回った。年度末には過去最低の数字となった昨年実績を更に下回る見込みだ。

### 39. <茨城県 焼物>

大都市等は景気が良いと報道されているが、地方は景気の良さが感じられず、むしろ悪化しているようだ。

### 40. <群馬県 コンクリート製品>

大型公共事業の遅れや工事発注の平準化等から、例年よりも年末需要が弱く、今後に期待。ただし、事業量の地域格差や企業間競争も続いている。

4 1. <神奈川県 砕石>

建設業界の堅調さが骨材出荷になかなか結びつかず、売上はほぼ横這い。また運転手不足の解消も持越されたままである。

4 2. <静岡県 セメント・同製品>

人手不足から車両の増車計画が進まない。積載量制限の緩和が望まれる。

4 3. <石川県 粘土瓦>

屋根材における瓦使用の減少が止まらない。前年比で売上高、収益ともに減。例年12月は出荷が減少するが、今年は悪天候から一層減少幅を広げることとなった。

4 4. <富山県 生コンクリート>

出荷量が天候不順の影響等から、前年同月比81%と大きく落ち込んである。

4 5. <三重県 陶器>

12月早々の寒波により、例年よりも寒さが厳しく、来客・売上ともに大きく減少した。

4 6. <沖縄県 生コンクリート>

出荷実績は全体で対前年同月比プラス。民間工事はホテルや店舗案件が増加し、公共工事も公共施設関連や橋梁工事への出荷増。しかし、原材料価格の上昇等から収益状況は改善されず。

## 鉄鋼・金属製造業

4 7. <茨城県 鍍金>

売上高は前年並みだが、金属材料が全般的に値上がり傾向であり、特に亜鉛・貴金属等の値上がり幅が大きい。また灯油・重油・ガソリン等、燃料費も上昇している。

4 8. <千葉県 機械部品>

今季は早い寒波の影響により、前年比・前月比ともに売上と利益がアップしている。

4 9. <神奈川県 金属製品>

多忙な状態が続いているが、人材の確保が難点。来年度の新卒募集にも人が集まらず、このままでは受注体制が整わずに断る仕事も出てくる。今後に向けて不安が強い。

5 0. <三重県 鍍金>

生産量は好調。自動車関連は円安傾向が続き、国内での部品生産、海外での組立の増産が継続。半導体関連部品もIOT・AIの普及や自動運転システムも影響し、生産増となる見込み。

5 1. <石川県 一般産業用機械・装置>

建設機械や自動車・産業機械等向けのベアリング分野は引き続き堅調を維持しているが、原材料費の上昇、電力値上げによるコストアップを懸念。北朝鮮情勢や人手不足にも不安がある。

5 2. <大阪府 金属熱処理>

増産計画があり、現有設備では対応が困難なので増設を実施。仕事量の増加に伴って作業員負担も増えているが、人が集まらない。また原油高から焼入れ油や都市ガス単価も上昇傾向にあり、特に焼入れ油は前月より数%の値上げとなった。

5 3. <島根県 非鉄金属>

前年同月よりは売上が減。自動車関連の仕事が減った分、建機系は上昇。派遣社員に頼る状況が続いているが、簡単に辞める者も多くて安定しない。品質低下も懸念されるが、他へのしわ寄せを考慮すると補充は続けざるを得ない。

5 4. <鹿児島県 機械金属>

鋼材の値上がりが請負価格にも影響し、一部では取引条件や収益状況、資金繰りが悪化。仕事量は問題ないが、人材不足と鋼材の納期等が不安材料である。

## 一般機器製造業

### 55. <岩手県 一般機械器具>

原材料と燃料等は値上がりしているが、それに見合う受注単価には値上げは出来ず。

### 56. <栃木県 一般機械器具>

前年同月比で全般的に売上高等は横ばいだったが、一部仕入単価の上昇あり。相変わらずの人手不足で納期・増産対応が難しい。

### 57. <埼玉県 一般機器>

大型機械の受注は減少しているが、小型は東南アジアを主体に堅調に推移。よって、大型の減少から収益が低下している。

### 58. <長野県 一般機械器具>

広範な分野で好調だが、一部の部品供給が需要過多で不足し、生産機会を逃している。また人員補充も極めて難しく、大企業の生産拠点新設等で新規雇用はさらに難しくなりそうだ。

### 59. <石川県 機械工作 鋳金加工>

工作機械の12月売上は前年同月比が148%となっているが、ピークと下降点を見極めなければならない。米国や中国経済回復等の好材料があっても、供給側の基盤が弱いと景気も頭打ちする。冷静に動向を見極めて対応していく必要がある。

### 60. <愛知県 電子工業>

土日も操業する等、生産稼働は高レベルで推移。派遣人材への人件費が増えているが、納入単価は変わらないままであり、収益の悪化が続いている。

### 61. <三重県 一般機器>

自動車や産業用機械関連が好調。増産対応で人手不足感が続き、残業を余儀なくされているが、長時間労働に対する世間の目も厳しくなっているため、待遇等を考慮して人員確保に努めなければならない。

### 62. <香川県 一般産業用機械・装置>

造船関連の低迷が継続。また鉄工関連も輸入部材の値上がりと人件費の高騰により経費負担は増加しているが、受注単価はリーマンショックから20%程値上がりとなり収益は伸びた。

### 63. <福岡県 一般機械器具>

日産関連は休業・減産だったが、半導体等の分野は忙しい状況。そして人手不足はどこの工場でも大きな問題になってきている。

## 電気機器製造業

### 64. <群馬県 民生用電気機械器具>

SUBARUの「無資格検査」問題から先月の生産ラインが停止された影響で、12月は関連企業に臨時出勤が発生し、設備操業度が上昇。問題の影響を引き続き注視していく。

### 65. <山梨県 電気機器>

航空機新規受注が低調。毎年のようにコストダウンが要請されているため、航空業界から離れる企業も増えている。

### 66. <兵庫県 電気機器>

大手メーカーの検査データ不正から生産減の影響が出ている。それに伴い、国内自動車販売は3ヶ月連続で減少。米国も乗用車の販売減少が続いており、前年同月比5.2%減少となっているため、生産調整を実施している。

### 67. <広島県 電気機械器具>

今月の売上は対前年同月比では4.5%増、前月比では5.2%減。国内売上は前年同月比、前月比ともに減少しており、輸出で国内をカバーしている状態。また最低賃金の上昇も経営を圧迫している。

## 輸送用機器製造業

### 68. <愛知県 鉄工>

自動車関連を中心に生産は順調。しかし、製造現場の人手不足が深刻化している状況も依然として続いている。

### 69. <岐阜県 輸送用機器>

航空機需要は確実に拡大しているが、今年度は主要機種の後継機開発に伴う減産がスタートし、操業度は対前年度比約15%も低下。加えてコストダウン要請もあり、収益性は悪化。

### 70. <三重県 輸送機器>

9月以降は繁忙な状態が続いており、慢性的な人手不足。年末年始も休暇中に数日間稼働しなければ納期に間に合わない状況だった。

### 71. <山口県 鉄道車両・同部品>

車両部門や精密加工、産業プラント部門ともに作業量が増加に転じ、受注消化が新たな課題。

## その他の製造業

### 72. <福島県 漆器>

年末の雰囲気皆無で年末商戦は低迷。迎春用品も高額品は特に不振だった。

### 73. <東京都 貴金属製品>

外注業者は工賃を上げてきているが、顧客への価格転嫁が困難であり、粗利率も低下。

## 《非製造業》

### 卸売業

#### 74. <北海道 各種商品>

12月は厳しい寒さと降雪が続き、師走の忙しさも重なり、物流面での混乱が例年以上に発生。またガソリンや灯油等の値上げも消費に影響してきている。

#### 75. <宮城県 繊維>

例年にない寒さが続き、防寒用の動きが好調。また年末年始の商戦も年々鈍化している。

#### 76. <栃木県 各種商品>

業況に変化はないが、ガソリン価格が前年同期比で約13%も上昇しており、営業車をほぼ毎日利用するので大打撃。特に年末は納期等が迫り、車両の稼働時間も長くなるので頭が痛い。

#### 77. <埼玉県 花卉>

先月同様に天候が大きく影響して生産・出荷減、市場も入荷減少となり、高値が継続。年末商戦も活気が無かった。

#### 78. <岐阜県 電設資材>

株価が上がっても好景気の実感はない。どの企業も先行き不安から設備投資を控え、内部留保に回しているようだ。また案件があっても、求人難や資材価格の高騰で様子見の状況。卸先も同様で人員不足で契約を諦めなければならない状態と聞く。

#### 79. <滋賀県 食料品>

野菜は天候不順と台風の被害を受け、安値から高値に一転。葉物野菜・果菜類を中心に品薄による単価高。果実も主要品目の蜜柑や林檎等は出荷量が減少した。

#### 80. <奈良県 青果>

一般的な入荷量の減少から例年にない高値が続いたため、売上額は昨年並みでも利益率の低下が著しく、純利益は前年同月比の80%程度にまで落ち込んだ。

#### 81. <徳島県 食糧>

物は売れず、仕入価格も下がらない。供給側の要因で原価が上昇。販売量が伸びないため、価格転嫁も出来ない。

### 小売業

#### 82. <宮城県 鮮魚>

今年の年末は例年以上に景況が悪化。一部に安値商品もあったが、主力のイクラ、タラバガニ、毛ガニ、海老類は超高値となってしまった。総じて年末商戦は不調。

#### 83. <東京都 青果>

先月同様に台風、長雨、日照不足で野菜類の生育が悪く、入荷量が減少し、価格が軒並み高騰。通常は蜜柑や野菜等で賑わうのだが、今年は空間が目立ち、活気のない年末風景となった。

#### 84. <新潟県 各種商品>

寒波の影響で気温が平年より低く推移し、コートを中心とした重衣料や靴等の防寒アイテムが好調。12月度の売上は前年同月比で微増となり、2ヶ月連続で前年実績を上回った。

#### 85. <兵庫県 家庭用機械器具>

株価が29年ぶりの高値更新と報じられているが、その影響が消費の最前線には全く微塵も感じられない。新型商品の修理依頼のみが多く、年末商戦も低調だった。

#### 86. <島根県 各種商品>

12月は最大の繁忙期だが、今年の年末商戦は短期集中となり業況は良くない。特に青果の入荷が極端に少なく、相場も非常に高い。春先まで品薄・相場高の状態が続く見通し。

87. <福井県 各種商品>

例年に比べて気温が低い日が多く、冬物重衣料やブーツ類に動きが見られ、前年を僅かに上回った。食品も年末を中心に好調。しかし、ネット通販との競合や人手不足は継続しており、売上にも悪影響が出ている。

88. <高知県 各種商品>

年々、年末需要が低調化。大型店が年始から開店する中、小規模店は太刀打ちできない。

89. <佐賀県 食料品>

昨年の台風や日照不足で野菜・果物は生育不良となり、年末も異常低温と天候不順で葉物野菜が高騰。蜜柑も入荷減で例年より2~3割高い状態。正月用品は年々売れ行きが悪くなっている上に商品の確保難と高値が重なり、今年は厳しい営業を強いられた。

90. <宮崎県 LPガス>

サウジアラビアとロシアが原油の減産延長に前向きとなり、またカナダとアメリカを結ぶパイプラインの原油漏れ事故の影響も重なって原油価格が続伸。本格的な需要期に入ったLPガス価格も上昇している。

## 商店街

91. <青森県 青森市>

初雪が降った中旬以降は冬物商品の売れ行きはまずまずだが、デパート等のお歳暮需要は縮小が続いており、苦戦を強いられた。

92. <石川県 片町>

気温が低く、マフラー等の防寒具やコート類が好調。単価も高いので売上アップに繋がった。また観光客も多く、経営に好影響が大きい。12月は季節的要因も多く、消費も強く感じたが、今後も同じ状況で推移するかは不透明である。

93. <京都府 京都市>

今年は特に人通りがまばらで、外国人客も非常に少ない。クリスマスから年末にかけても物販店の集客は弱かった。株価が上がって景気回復が叫ばれているが、その感覚はない。

94. <兵庫県 豊岡市>

クリスマスや年末年始にかけて色々趣向をこらしてセールを実施したが、ボーナス支給後も消費者の財布の紐は固く、正月用品や贈答品を除いて、期待外れの商戦に終始した。

95. <香川県 丸亀市>

「12月はかき入れ時」というのも今は昔の話で、相変わらず閑散としている。年末の季節感もなくなっており、世代を問わず消費しないで節約するムードが広まっているようだ。

96. <愛媛県 新居浜市>

秋口以降の消費低迷のままに年末商戦を迎えた。歳末抽選会や共同売り出し、各店舗の独自セールで消費喚起を促しても、客数減少に歯止めがかからない。ボーナス支給後も全体の客単価が上がらず、売上減に繋がっている。

97. <大分県 大分市>

年末でも全体的に売上は低調。大型店の閉店が若年層における通行量の減少に影響。クリスマス商戦も盛り上がり欠けている感じがする。

## サービス

98. <宮城県 自動車整備>

降雪や寒さが昨年より早く、整備需要がある程度得られたが、車検台数は減少。人材不足、や業績低迷等、厳しさには変わりはない。また県内新車販売も前年割れが続いている。



99. <山形県 情報処理>

地元の受注案件がないため、近県へ出稼ぎに行っているケースを方々から聞くようになった。

100. <福島県 温泉旅館>

例年より寒さが厳しい12月となり、観光客の人も伸び悩んだ。年末客も大晦日に集中し、ほぼ満室となったが、忘年会等の需要は年々減少する一方である。

101. <東京都 飲食業>

天候不順の影響で野菜の高騰が継続。外食シーズンだが、仕入れに苦慮している。

102. <和歌山県 飲食店>

仕入値等が上昇するも、料金への価格転嫁が進まない。資金繰りも厳しく、運営資金が不足。

103. <岡山県 リサイクル>

鉄・非鉄は国内鉄スクラップが値上がりし、4年ぶりの高値水準。世界的な鋼材価格の上昇から鉄鉱石、石炭も上がっており、鉄鋼全体の価格が上昇している。古紙も中国が環境問題から古紙の輸入制限を強化したために新聞・雑誌・段ボールともに値上がりした。

104. <島根県 旅館>

前年同月・前月比ともに減少。年々、年末需要が減少し続けている。今年の年末は大型連休とはならず、集客に繋がらなかった。

105. <山口県 理容>

依然として組合員に景気回復の実感はなく、今後の先行きにも不安感がある。

106. <香川県 ディスプレイ>

年末・クリスマス商戦も終わり、売上は低迷。春先工事における下請け等の確保が困難で仕事が受注できないケースも出ている。

107. <佐賀県 美容>

売上は前月・前年比ともに増加。パーマやカラーリング等が増加し、客単価が上昇してはいるが、来客数は頭打ちの状況。また人手不足も相変わらずで、成人式等の着付け予約を制限する店舗も多くなっている。

## 建設業

108. <北海道 管工事>

例年になく降雪が多いために除雪業務の出動機会が増加。高齢化で作業人員の確保が難しい。

109. <山形県 管工事>

人手不足で受注制限をする企業があり、売上が伸びない。下請先の確保も難しくなっている。

110. <埼玉県 鉄骨工事>

五輪関連や首都圏の大型再開発等で需要増が続き、労務単価や資材費が上昇。運営資金の捻出が難しく、受注増は歓迎するが資金繰りに苦慮している。

111. <山梨県 型枠工事>

年末で仕事量が増加したが、人件費や材料の高騰が影響して収益は低迷。また労働環境の悪さから若手労働者の確保や定着率も低く、高齢化が進んで仕事効率が落ちている。

112. <静岡県 総合工事>

建設業でもインターネットサイトで資材を購入する割合が増加しており、近くの建材店や金物店の倒産・廃業が出ている。

113. <岐阜県 管設備>

年度末の仕事量が増加しており、技術者、配管工、労働力が不足。しかし、毎年4月以降は仕事量が落ち着くため、この時期の雇用は足踏みしている。

#### 114. <徳島県 建設>

相変わらず公共工事の発注が遅れており、県下全域で受注量が減少。11月末時点の県公共工事発注は前年比15.6%減となっており、厳しい状態。

#### 115. <熊本県 総合工事>

12月は発注工事が増加するが、深刻な人手・労働力不足から自治体側も発注できない状況。また災害復旧工事は予定価格自体が低く抑えられて利益も出ず、人件費や資材価格も上昇しているため単価見直しを求めたい。

### 運輸業

#### 116. <栃木県 軽貨物>

12月は建設資材、原材料、食品関連貨物が堅調だが、ドライバー不足で受注が出来ずに大きな機会損失を招いている。人手不足と高齢化対策に苦慮している。

#### 117. <岐阜県 貨物運送>

乗務員・トラック不足で輸送需要は増加し、納期対応が厳しい。燃料費、人件費、協力会社への支払い運賃等、全般的な経費の増加により、忙しくても残るものがない。

#### 118. <京都府 道路旅客運送>

忘年会シーズンとなり、街中の動きは活発になっているが、タクシー会社は乗務員不足の深刻化が一層進み、コールセンターで依頼を受けてもお断りをせざるを得ない状況が続いている。

#### 119. <和歌山県 一般貨物自動車>

12月の軽油価格は前年同月比で1ℓあたり9.7円の上昇となり、燃料費と高速料金の値上げから経営が悪化。また物流量も特に柑橘類(主に蜜柑)が不作のために輸送計画が未達となり、厳しい状況にある。

#### 120. <広島県 道路貨物>

ドライバー不足による車両減少と労働規制で荷物が捌ききれない。運賃は改善されているが、燃料価格の上昇と下請代金の上昇により、収益状況は低迷したままである。

#### 121. <長崎県 運送>

12月の売上は前年並みだったが、軽油価格が上昇して収益が悪化。また運転手不足も一層深刻化している状況。

#### 122. <宮崎県 軽貨物>

大手運送業者の運賃改定があったが、下請には何も変化がなく、収益環境も改善されないままの状態である。